

令和6年度第2回自立支援協議会テーマ別部会  
障がいのある方と防災について 議事要旨

1. 開催日時 令和6年10月25日（金） 14時～15時30分
  2. 開催場所 まちづくり活動プラザ 1階会議室
  3. 出席者 （委員）＊団体名のみ記載  
浦安市肢体不自由児・親の会「どっこらしょ」、浦安市聴覚障害者協会  
（福）浦安市社会福祉協議会、（福）敬心福祉会、（福）千楽、（福）佑啓会 （以上五十音順）  
障がい事業課 障がい福祉課  
（事務局）浦安市基幹相談支援センター
  4. 議事次第
    1. 開会
    2. 議題
      - （1）11/9（土）開催の浦安市障がい者福祉センターきらりあ福祉避難所開設訓練の流れの説明と確認
      - （2）合理的配慮シート内容について共有
      - （3）当日の各自の動きの確認
    3. 閉会
  5. 配布資料  
次第  
浦安市障がい者福祉センター図面、備蓄品リスト、実施要項  
東野パティオ通所棟備蓄品一覧  
防災の手引き
  6. 議事要旨
    - （1）11/9（土）開催の浦安市障がい者福祉センターきらりあ福祉避難所開設訓練の流れについて、  
（福）敬心福祉会より実施要項をもとに以下の事項について説明
      - ・災害想定（非常電源が電気を供給できる時間を含む）
      - ・開設準備
      - ・運営の流れと役割の設定
      - ・タイムスケジュール→これを受けて、事務局より、委員に当日の役割を次第に沿って説明後、委員より質疑応答の時間をもち、当日の動きや役割を遂行する上で不明点を確認。
- 主な確認事項
- ・避難所での避難者の体調不良時の医療連携など、市の全体像を想定しながら他機関連携の方策を念頭において参加したい。

- ・身体に障がいがある方たちは、介助者1名での避難は難しいことから見直しが必要と感じる。
- ・パティオとの連携と協力体制の在り方を考えながら参加したい。
- ・ビブスを準備したうえで訓練を実施する。
- ・合理的配慮シートを手元に持って、その場で感じた考察を記載しながら参加する。

## (2) 合理的配慮シートの視点共有

### 【身体に障がいがある方、医療的ケアがある方】

- ・車いすを利用している方については、垂直避難は難しい。
- ・パーテーションだけの仕切りだとオムツ交換や着替えの時に不安感があり、トイレに大きめのベットがあれば良い。
- ・呼吸器をつけている方、電動車いすの方には電源確保は重要。
- ・介護食の備蓄（経管栄養剤などは、個別性が高く病院との連携で必要な医療物品の確保ができるのか検討したほうが良い）
- ・空調の課題は大きい（体温コントロールが難しい方も多い）
- ・衛生用品の確保

### 【聴覚に障がいがある方】

- ・目で見る情報が重要。筆談や手話で、当事者が困っていることを確認してほしい。
- ・災害時の初動については、地域の防災体制や避難所情報を字幕放送や電光掲示板で知らせてほしい。
- ・「アイ・ドラゴン」（目で見るテレビ）の機器活用や避難所内でのホワイトボードでの情報掲示は有効。

### 【発達障がいがある方】

- ・不安が高い方が多く、避難というだけで不安感が更に高まることは想定される。ただ、個別性が高いことでもあり、全般的に言えることはコミュニケーションにおける曖昧さの軽減と視覚化。

### 【その他】

- ・手話通訳がない状態下での災害時の対応は検証していく必要がある。電子メモパットを備蓄することができれば良いか。
- ・災害ボランティアセンターは、どんな方がボランティアにくるか当日にならないとわからないことから、誰でもできる事が何かに着目して参加する。
- ・今回の訓練では、障がい者福祉センター通所者の方を含め、当事者の皆さんに初めて参加して行うことから、避難所運営に必要な環境整備、視点について検証したいと考える。